

ねんどぶらぐかいほうどうめいいわみちようおんじしぶしゅさい
2025年度部落解放同盟岩美町恩志支部主催



にゅうじようむりよう
入場無料

もうしこみふよう
申込不要

じん けん こう えん かい 人 権 講 演 会

しあわ はこ にんぎよう
幸せを運んだ 人形まわし

にちじ がつ にち にち こぜん し しょうご
◆日時◆ 7月13日(日) 午前10時～正午

◆会場◆

いわみちようちゆうおうこうみんかん
岩美町中央公民館
いわみんホール

住所：岩美町浦富1038-6
電話：0857-72-0510



岩美駅から徒歩3分

◆講師◆



しばはらせいかつぶん かげんきゅうしよ
芝原生活文化研究所
代表 辻本 一英 さん

あわでこはこ ぼそんかい
阿波木偶箱まわし保存会

かい ちょう
会 長
中内 正子 さん

ふくかいちょう
副会長
南 公代 さん



手話通訳を希望される方は6月30日までに岩美町文化センターまでお知らせ下さい

【お問い合わせ先】 岩美町文化センター ☎：0857-72-1931 ・ E-mail：onji-rinpo@road.ocn.ne.jp

後援：岩美町・岩美町教育委員会・部落解放同盟鳥取県連合会

しばはらせいかつぶん かげんきゅうしやうだいいよう
芝原生活文化研究所代表。NPO法人ヒューマンネットとくしま理事長。

あわでこはこ ほぞんかいこもん しばはらせいかつぶん かがつきゅう しばはらししゅ やかんがっこうしゅさい
阿波木偶箱まわし保存会顧問。芝原生活文化学級・芝原自主夜間学校主宰。

とくしまけんぶらうくしけんきゅうかいがいちよう とくしま
徳島県部落史研究会会長、徳島ペンクラブ理事副会長。

1979年に、生活文化の調査を始める。1995年に、阿波木偶箱まわし保存会を組織して、「三番叟まわし」「箱廻し」「えびすまわし」「大黒まわし」等の無形民俗文化財の伝承を手掛ける。1998年、芝原生活文化研究所を設立し、徳島県内における生産と労働を中心とした生活文化の調査研究にとり組み、全国各地の人権・同和問題の講演をはじめ、福祉、まちづくり、文化関係の講演活動を行う。

《受賞》 2016年 第4回「水木十五堂賞」(大和郡山市主催)を受賞する。

2024年 とくしま出版文化賞を受賞する。

《著書》 『阿波のでこまわし』(2008解放出版)

『でこまわし』『生きている三番叟まわし』『福を運んだでこまわし』(芝原生活文化研究所
2005、2009、2016)

『人形のムラ』I、II、III、IV、V、VI (2021-2025)

《論考》 『徳島地域文化研究紀要第11号』『阿波木偶『三番叟まわし』芸人の記録から』(2013同研究会)

《全国誌投稿》『怪46号他』『神々を運ぶ芸能』(2015角川書店)

『幽25号』『正月に舞う神々』(2016角川書店)

『まほら 100号』(2019旅の文化研究所)

あわでこはこ ほぞんかい
阿波木偶箱まわし保存会

かいちよう なかうちまさこ ふくかいちよう みなみ きみよ
□会長 中内正子さん □副会長 南 公代さん

阿波木偶「箱廻し」や「三番叟まわし」をはじめ、徳島県独自の祝福会や門付芸等の無形民俗文化財調査研究を目的として1995年に発足。

師匠の門付先を受け継ぎ2002年から徳島県内で正月の門付を行う。2021年には、徳島県内6市7町で千軒余りの民家に福を届けた。また、愛媛県・香川県・兵庫県でも門付する。現在、日本各地の他海外での公演も行い、ミラノ万博にも出演し徳島県の魅力を紹介した。2019年7月には、東京国立劇場で「祝福会」に出演した。

《受賞》 2006年 徳島新聞賞「文化賞」

2009年 ユネスコアジア文化センター「ACCU賞」

2009年 徳島県「阿波文化創造賞」(会長 中内正子)

2017年 サントリー地域文化賞

2020年 とくしま芸術文化賞(会長 中内正子)

2022年 第一回西光万吉文化・平和活動奨励賞